

さくら市議会だより



2009. 2. 1
〈平成21年〉

発行 佐倉市議会 編集 議会報編集委員会 〒285-8501 佐倉市海隣寺町97番地 TEL484-6177 FAX486-2508
佐倉市ホームページ <http://www.city.sakura.lg.jp> メールアドレス gikai@city.sakura.lg.jp



議会終了後、緊張も解け笑顔で

第3回 こども議会 開催

11月7日（金）、こども議会が本会議場で開催され、市内11中学校21名の生徒が、議長、議員となり議事を体験しました。こども議員たちは、生活や地域の身近な問題など、それぞれの視点でしっかりと質問しました。これに対し、部長・課長など執行部が答弁し、本会議さながらのやりとりが行われました。

参加生徒からは、「緊張したが、とても貴重な体験ができた。」「質問したことや他校の生徒の質問を聞いたことで、佐倉市について知らなかったことに興味をもつことができた。」「この体験を今後に生かし、自分の考えを周りに発信していきたい。」など、前向きな感想が多く見られました。

12月定例会

12月定例会は、12月1日から22日までの22日間に行われ開催しました。今定例会では、「補正予算」7件、「条例の一部改正」3件、「指定管理者の指定」6件など議案21件、諮問1件が提出され、議案第20号以外はすべて原案のとおり可決・同意しました。請願・陳情については、請願1件、陳情1件を審議し、陳情は採択しました。（4ページ参照）
一般質問には、各会派の代表質問に6人、個人質問に11人が登壇し、市政について広範囲の質問を行いました。（2・3ページ参照）

一般会計補正予算など

20議案を可決

先進事例



議会運営委員会



伊賀市役所にて

伊賀市では、議会基本条例について視察。合併時に議会が市民からの信頼を失いかけ、それを取り戻すために、それ以前に市民や議員の集まりの中から策定された伊賀市自治基本条例を根拠として策定。議会の一問一答方式、行政への反問権の付与、議員が市内各地区へ出かけての議会報告会、常任委員会による市民への出前講座などが特徴である。

文教福祉常任委員会



京都市役所にて

①亀岡市では、地域福祉計画、子育て支援施策、地域包括支援センターを視察。
②京都市では、「みやこユニバーサルデザイン」学校エコマイレージについて視察。みやこユニバーサルデザインでは、「人にやさしいまち」の実現に向け条例を制定。学校エコマイレージは、環境問題への学校の優れた取り組みをポイントで評価し、翌年度予算に還元する事業。

総務常任委員会



多治見市役所にて

①岐阜市では、「総合交通政策」について視察。市民との協働により、だれもが自由に移動できる交通環境社会の実現をめざした施策の実践に取り組んでいる。
②多治見市では、「市政基本条例」及び「健全な財政に関する条例」について視察。市民自治の確立と、情報公開を進め、情報共有と合意形成に基づき財政の健全性の確保に努めている。

建設常任委員会



向日市雨水貯留トンネル入り口にて

①京都市では、「電線類の地中化」について視察。都市災害の防止とライフラインの安全性・信頼性の向上による安全・安心の街づくり、誰もが歩きやすい道づくりに取り組んでいる。
②向日市では、「雨水貯留トンネル」による浸水対策について視察。河川等の流下能力の不足による浸水被害解消を図り、暮らしに安全・安心のあふれる「雨に負けない街づくり」を推進している。

経済環境常任委員会



ゆうきの里・和田民俗資料館にて

①長井市では「レインボープラン」について視察。家庭の生ごみを回収し粉砕、畜ふんと合わせて発酵させ堆肥にする。生産された堆肥は、市内の農家に販売し土づくりに活かされている。
②高島町では「ゆうきの里づくり」について視察。有機農業運動誕生の地である同町では、消費者との交流を深め、農作業の体験を通して農業への理解と意見交換を行っている。

市政に関する

一般質問

一般質問とは、議員が議案に関係なく、市政全般にわたる質問をいいます。

12月定例会では、8日から11日までの4日間にわたり、一般質問が行われ、市政に対し活発な議論が展開されましたので、その一部を掲載します。

詳細については、市役所2階市政資料室・市内各図書館にて会議録(2月下旬発行予定)の閲覧、または、佐倉市ホームページより会議録検索システム(2月下旬配信予定)でご覧ください。

代表質問

さくら会

櫻井道明

農業問題について 今後の地域農業のあり方の調査研究、次代を担う子どもたちや新たに農業を始めようとする方々への農業体験機会の提供や知識・技術の習得支援をする必要があると考えるが、市長はどのような施策を講じているのか。また、地産地消の大切さが認識されている昨今、道の駅等の地元農産物や特産物の販売を通じ、そこを拠点とした観光振興の推進が地域活性化に結びつくと考え、市長の考えを伺う。

公明党

岡村芳樹

救急救命・防災・減災対策について

近年、地域の自主防災組織による、防災・減災に向けた取り組みが活発になり、より具体的な実践的な訓練を行うようになった。それに伴い、地域の広域避難所である学校について、校庭や体育館だけの利用でなく、事前に申し入れた場合、教室の開放等について可能か？

制度開始と同時に佐倉市ホームページを更新し、こうほう佐倉12/15号へ掲載。また、佐倉商工会議所発行の広報紙クロスポイント12月号と全戸配布する1月号に折り込みを入れる等、周知を図る。融資事務は金融機関を通じて行うため、金融機関とは常に連携を図っていく。

佐倉市民オンブズマン

藤崎良次

市長の政治姿勢について

今回の私の一般質問に際し、質問通告の内容について答弁者への事前説明はしなかった。この説明により、質問が10日程古くなり、事前に固定化され、他議員の質問による積重ねの深みも出ない。さて、市長は仕事について1年8カ月となるが、仕事に関して市長になる前の予想と異なっていた点は何か？

しないように努力する。議会の簡単な資料請求に対し、十分に情報提供しない傾向が一部にある。どう考えるか？

新社会党

冨塚忠雄

定額給付金について

また最近、一部職員が「行政のすることに間違いはない」などと発言することがある。志津霊園、収賄事件などの不祥事が風化していないか？

風化は、決してない。今後とも透明化に努める中で、風化に水道部から返還してもらおう。

市民ネットワーク

入江晶子

ハツ場ダムからの撤退について

画変更でダムの完成予定が当初の22年から27年度に延長された。22年度の水需要は日量8万8880m³と予測されていたが、今後の人口推計に照らして合理的にダムが必要とされる水需要予測があるのか。

保育園民営化と保育の公的責任について

保育分野の規制緩和によって保育ビジネスが拡大している。国による制度改善が進むなか、社会保障としての保育の公的責任と役割を再確認してほしい。

総合交通政策について

岐阜市の総合交通政策は、自動車依存からバスなどの公共交通や自転車、歩行者を優先した環境に優しい政策であるが、佐倉市の考え方と地域公共交通協議の進捗状況をお聞きします。

日本共産党

萩原陽子

子どもへの健康保険証交付について

国民健康保険を滞納し正規保険証を交付されていない世帯が市内に685世帯あり、その中に子ども(中学3年生迄)が60人含まれている。貧困によって医療にかかれない子どもを救済するため、子どもへの保険証交付を求めます。

現在、法律上の問題はあるが救済の必要性を認め、緊急措置として21年1月から就学前の子どもに短期被保険者証を交付する。小中学生への交付については国の動向等を見守りたい。

学力と競争の関係について 全国学力学習状況調査の結果公表について、議論が噴出している。秋田県など「公表することが学力の向上に結びつく」との立場をとるがどう考えるか。

全国学力学習状況調査に関する実施要領には「教育の成果と課題を把握し、その改善を図る事」や「県教育委員会は市町村・学校名を明らかにした公表は行わない事」と明記されており、本調査は学校や教職員を評価するものではない。学校の序列化や過度な競争が生じないように配慮しなければならぬと考えている。結果を基に指導方法や子ども一人一人の学習の改善を行う事が一番大切だと考えて、本調査に参加した。

用語解説

【自治基本条例】

自治体の憲法とも言われ、地域課題への対応やまちづくりを誰がどのような役割や方法で決めていくか、自治の基本ルールを条例化したもの。情報の共有、市民参画・協働、市民・議会・行政の役割と責任等について定める。

個人質問

四街道市の清掃組合加入の問題について

中原英雄

佐倉市を「せつついで」早急な結論を出させると議会で四街道市長は答弁している。

この問題は佐倉はもとより、酒々井町民の意思の確認が重要であるので、四街道市の過去の負担分の分担や、将来の義務の約定等を踏まえ、慎重な検討が必要である。

四街道市の清掃組合への加入に想定される諸問題について、組合と構成市町との調整を行い、廃棄物処理行政の円滑な推進を目的とした佐倉市、酒々井町清掃組合四街道市加入問題検討委員会の検討結果を踏まえ、清掃組合と協議しながら、慎重に判断したい。

佐倉市民オンブズマン 上ノ山博夫 自治基本条例制定について

新しい住民自治の在り方を示す「自治基本条例」の制定は本来、市民が主体となって決めべきものだが行政による啓発も必要。具体的な考え方、方向性、制定へのスケジュールは？

自治基本条例の制定の動きは全国的に広がっている。その背景は、地方分権の推進、市民活動の成熟化により必然的に自治の枠組みや住民自治を実現するための仕組みを整える必要が高まってきたからと受け止めている。市としてはすでに制定されている市民協働条例との関係性を含めた条例の在り方や策定方法、他の自治体における取り組みを参考に引き続き研究していきたい。

安心出産の分娩受け入れ体制を

新社会党 勝田治子

突然の異状や出産後のケアなど不安要因に応えるために地域周産期母子医療センターの設置や空きベッド情報のネットワークが求められている。市の体制と利用者へのPR等を問う。

県内には6つの周産期母子医療センターが設置され、東邦大学医療センターもその一つである。他にも同クラスの病院が9つある。二次医療圏内(印旛郡市)では産婦人科医から医療センター等へ連絡し受け入れを依頼する母体搬送システムがある。亀田総合病院には搬入先を探して決定するコーディネーターを配置している。妊婦健診の受診が重要であることから情報発信や啓発を進める。

気軽にできるスポーツの環境を

さくら会 山口文明

近所や町内会単位で、グラウンドゴルフなどの気軽にできるスポーツを通じて、市民の健康づくりを図り、住民同士のコミュニケーションが広がる環境づくりを全市レベルで推進したい。これは、地域での助け合い、仲間づくりにつながる。市の積極的な取り組みを要望する。

図書館の利便性について

公明党 小須田稔

図書館の利便性向上のため多くの市民が利用する中央公民館、ミレセン等の施設に返却窓

口を増設すべきと考えるが如何。返却窓口の増設は、経費・安全面と併せてシステムを設置していないため課題点がある。今後検討していきたい。

わかりやすい案内標識について

公明党 森野正

昨年9月議会で案内標識について質問しているが、その後の市としての取組み状況は。

新たな整備は予算の関係で見送っている。補修は年数ヶ所を実施。旧堀田邸の玄関口周辺の景観については、県教育委員会との調整も済んでいることから、玄関まで笠木塀を設置し、景観をより良くしていきたい。

教育問題について

公明党 森野正

地域には、相当の社会経験を積まれ、今は時間・体力的に余裕のある方が増えている。逆に教員からは、時間の余裕がないという声がある。授業のお手伝い等、地域の人材活用を積極的に取り入れるべきではないか。

市営図書館の蔵書拡大と充実

日本共産党 兒玉正直

学校図書館の蔵書拡大と充実を図るため、地域から、図書館の寄付を受入れてはどうか。

学校図書館で活用できる図書等についての寄贈は大変ありがたい。有効に活用を図り、子どもたちの豊かな心の育成や学力の向上につなげたい。今後、受け入れ出来るように努める。

歩行喫煙禁止の拡大について

公明党 柏木恵子

本市は、近隣市に先駆け平成15年「迷惑行為防止条例」を施行し、その中にタバコの被害を防ぐという意味で、市内の各駅周辺に、喫煙禁止区域を設定しましたが、さらに子ども達が集まる公園などを、小範囲での喫煙箇所の指定を含め喫煙禁止区域指定ができないか？

公園の利用や形態に合わせ喫煙禁止区域、歩行喫煙禁止区域など、その指定方法についてできるだけ早期に検討する。

市民ネットワーク 伊藤壽子 化学物質過敏症対策について

伊藤壽子

校舎建設、改修工事による健康被害の予防対策と、シックスクール対応マニュアル作成について。また化学物質過敏症の原因が身近にもあり、その周知方法として、公共施設や学校での「香料(香水・整髪料など)自粛のお願い」ポスター掲示の取り組みについて伺う。

市民ネットワーク 工藤啓子 「偽装請負」問題や地方公務員法に抵触する臨時職員の雇用実態

工藤啓子

校長から学校用務員への指揮命令、給食の食材や調理器具の市からの無償提供、栄養士からの指示、担当職員管理下での窓口業務等は「職業安定法」に違反し「偽装請負」では。臨時職員の要綱による一方的解雇要件及び一月の雇止め等劣悪な雇用実態の早急な改善を求める。

ため天井材が落ちていたり、ボルトが天井に挟まっていたり、穴が空いたり、ふやけて落ちそうなものもある。避難所としての施設管理と子どもたちの安全の責任ある立場での、現状の把握と対策についての見解を問う。

市民ネットワーク 五十嵐智美 消費生活センターについて

五十嵐智美

センターは多重債務、悪質商法等の相談窓口、消費者大学、出前講座を行い情報や知識の提供。①多重債務の原因の多くは低所得、病気など経済的困難がある。センターが相談窓口であり、相談者と弁護士等を確実に繋ぐ取り組みが必要、対応は。

②消費者出前講座は相談員が地域に出向いて身近な問題の事例をまじえ行う講座。高齢者を狙う振り込め詐欺などの対応を知る機会になるが広報の方法は。③多重債務問題連絡会を設置し対応する。弁護士等への同行は行わず、十分な説明をし、当事者の意志に任せる。④情報の提供は、分かりやすい内容となるよう検討し、改善に努める。

市民ネットワーク 伊藤啓子 「偽装請負」問題や地方公務員法に抵触する臨時職員の雇用実態

伊藤啓子

校長から学校用務員への指揮命令、給食の食材や調理器具の市からの無償提供、栄養士からの指示、担当職員管理下での窓口業務等は「職業安定法」に違反し「偽装請負」では。臨時職員の要綱による一方的解雇要件及び一月の雇止め等劣悪な雇用実態の早急な改善を求める。

市民ネットワーク 五十嵐智美 消費生活センターについて

五十嵐智美

センターは多重債務、悪質商法等の相談窓口、消費者大学、出前講座を行い情報や知識の提供。①多重債務の原因の多くは低所得、病気など経済的困難がある。センターが相談窓口であり、相談者と弁護士等を確実に繋ぐ取り組みが必要、対応は。

一般質問通告要旨

代表質問

※は持ち時間2時間、()内は会派名

櫻井 道明 (さくら会) ※

- 1 行財政運営について 2 福祉・健康問題について
3 安心安全なまちづくりについて 4 農業問題について
5 清掃組合への四街道市の加入協議について
6 建設問題について 7 教育について

岡村 芳樹 (公明党) ※

- 1 市長の政治姿勢について
2 高齢者・介護・子育て等福祉施策について
3 救急救命・防災・減災対策について
4 デマンド交通等整備へ向けた進捗について
5 中小企業融資対策について 6 農工商振興施策について
7 名木古木や旧家屋等保存施策について
8 勝田台・長熊線・志津霊園区間未開通問題について

入江 晶子 (市民ネットワーク)

- 1 来年度予算編成方針、ハッピーダム事業、保育園民営化等に対する市長の政治姿勢について
2 格差社会における生活保護の役割と課題について
3 ひとり親家庭への支援策と今後の課題について

藤崎 良次 (佐倉市民オンブズマン)

- 1 住民負担と行政サービス、学童保育、市民活動支援等への市長の政治姿勢
2 佐倉市の決算結果について 3 人材バンクの活用について

富塚 忠雄 (新社会党)

- 1 自治基本条例の制定について 2 定額給付金について
3 総合交通政策について

萩原 陽子 (日本共産党)

- 1 市長の政治姿勢 2 保育の充実について
3 教育問題

個人質問

中原 英雄

- 1 清掃組合への四街道市の加入申し入れについて

上ノ山博夫 (佐倉市民オンブズマン)

- 1 市長の政治姿勢他について 2 教育問題について
3 ひとり親家庭支援及び自殺対策について

山口 文明 (さくら会)

- 1 スポーツの振興について 2 危機管理について
3 自殺対策について 4 自然環境の整備について

勝田 治子 (新社会党)

- 1 農業問題 2 安心して出産・子育てのできる施策について
3 集合住宅におけるコミュニティーづくりについて

小須田 稔 (公明党)

- 1 災害対策について 2 図書館の利便性について
3 見やすくわかりやすい案内標識について
4 スポーツ振興と健康づくりについて

森野 正 (公明党)

- 1 教育問題について 2 道路整備計画について
3 公共交通の整備について

柏木 恵子 (公明党)

- 1 安心安全のまちづくりについて 2 市の集団健診について
3 高齢者等賃貸住宅入居支援について
4 乳幼児医療制度のさらなる拡充について

兒玉 正直 (日本共産党)

- 1 学校の整備について 2 印旛沼第二期事業について
3 09年度佐倉市予算編成方針について

伊藤 壽子 (市民ネットワーク)

- 1 化学物質過敏症対策について
2 (仮)西部自然公園整備基本計画策定について
3 井野東土地区画整理事業地内に閉店予定の24時間営業大規模小売店舗問題について

五十嵐智美 (市民ネットワーク)

- 1 消費生活センターについて
2 市民参加の制度を進めるための手法について
3 第4期高齢者保健・福祉・介護計画について

工藤 啓子 (市民ネットワーク)

- 1 官製ワーキングプア公共サービスを担う非正規公務員と民間委託の問題について
2 ファミリーサポート事業の検討について

◎上記の通告内容は、佐倉市議会会議規則第60条に基づき質問者から議長に文書で通告のあった内容を基に、大項目のみ掲載しています。

市長から学校用務員への指揮命令、給食の食材や調理器具の市からの無償提供、栄養士からの指示、担当職員管理下での窓口業務等は「職業安定法」に違反し「偽装請負」では。臨時職員の要綱による一方的解雇要件及び一月の雇止め等劣悪な雇用実態の早急な改善を求める。委託は仕様書に定められた範囲内の業務を行い、業務委託契約に問題はない。臨時職員の更新は法律では1度だけ、再雇用には一ヶ月という短期間ではない中断が必要、解雇要件は地方公務員法第28条一般職の分限処分の規定に準じている。

12月定例会の議案と議決結果 (議決 12月22日)

・右欄は本会議の議決結果 ◎全員賛成、○賛成多数、△賛成少数

市長提出議案 ※丸数字は議案番号、白抜き数字は諮問番号

①平成20年度佐倉市一般会計補正予算 歳入歳出それぞれ1億8144万7000円を増額するもので、予算総額は、392億1414万5000円。歳出の内容は、財政調整基金への積立て、学童保育所転用に伴う繰上償還による公債費の増、成人保健事業費の増等。歳入の主な内容は、地方特例交付金、国庫支出金及び市債の増。債務負担行為補正については、指定管理者施設管理業務、平成21年度の通年業務及び寺崎特定土地区画整理事業地内公共下水道整備など18件の追加。その他に、継続費補正、繰越明許費、地方債補正。	原案可決	○
②平成20年度佐倉市国民健康保険特別会計補正予算 歳入歳出それぞれ6344万円を増額するもの。歳出の主な内容は、一般被保険者療養給付費の増と退職被保険者療養給付費の減。	原案可決	○
③平成20年度佐倉市下水道事業特別会計補正予算 歳入歳出それぞれ1580万円を減額するもの。歳出の主な内容は、消費税の減及び事業執行に伴う計数整理。	原案可決	○
④平成20年度佐倉市農業集落排水事業特別会計補正予算 歳入歳出それぞれ129万5000円を増額するもの。歳出の主な内容は職員人件費の増。	原案可決	◎
⑤平成20年度佐倉市介護保険特別会計補正予算 歳入歳出それぞれ1548万7000円を増額するもの。歳出の主な内容は制度改正に対応するためのシステム改修による一般管理費の増。	原案可決	○
⑥平成20年度佐倉市後期高齢者医療特別会計補正予算 歳入歳出それぞれ570万5000円を増額するもの。歳出の主な内容は制度改正に対応するためのシステム改修による一般事務費の増。	原案可決	○
⑦平成20年度佐倉市水道事業会計補正予算 収益的支出予定額のうち営業費用に1030万円の増額。取水井電気料及び浄水場電気料の増。	原案可決	◎
⑧佐倉市営自転車駐車場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について 市営自転車駐車場の原動機付自転車置き場の収容スペースに余裕のある6ヵ所について、利用対象車両を現在の自転車及び総排気量50cc以下の原動機付自転車から、総排気量125ccまでの原動機付自転車に変更しようとするもの。	原案可決	◎
⑨佐倉市高齢者福祉作業所設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について 高齢者福祉作業所の役割の見直し等を行うため、指定管理者に関する規定を削除し平成21年度から市の直接管理とする手続を定めようとするもの。	原案可決	◎
⑩佐倉市道路線の認定について 大蛇町地先の1路線を佐倉市道として認定するもの。	原案可決	○
⑪佐倉市道路線の認定について 上志津地先の3路線を佐倉市道として認定するもの。	原案可決	○
⑫佐倉市道路線の変更について 都市計画道路太田・高岡線(1-33号線)道路改良工事による周辺既存市道の区域変更に伴い、城地先の1路線を変更するもの。	原案可決	◎
⑬建物無償譲渡について 下勝田農村協同館を認可地縁団体下勝田区に無償譲渡しようとするもの。	原案可決	◎
⑭佐倉市志津コミュニティセンターの指定管理者の指定について 平成21年4月1日から平成24年3月31日まで、テルウェル東日本株式会社を指定管理者として指定しようとするもの。	原案可決	○
⑮佐倉市市民公益活動サポートセンターの指定管理者の指定について 平成21年4月1日から平成24年3月31日まで、社会福祉法人佐倉市社会福祉協議会を指定管理者として指定しようとするもの。	原案可決	○
⑯佐倉市西部地域福祉センターの指定管理者の指定について 平成21年4月1日から平成26年3月31日まで、社会福祉法人佐倉市社会福祉協議会を指定管理者として指定しようとするもの。	原案可決	○
⑰佐倉市南部地域福祉センターの指定管理者の指定について 平成21年4月1日から平成24年3月31日まで、社会福祉法人佐倉市社会福祉協議会を指定管理者として指定しようとするもの。	原案可決	○
⑱佐倉草ぶえの丘の指定管理者の指定について 平成21年4月1日から平成26年3月31日まで、山万グループを指定管理者として指定しようとするもの。	原案可決	○
⑲佐倉新町おはやし館の指定管理者の指定について 平成21年4月1日から平成26年3月31日まで、佐倉歴史案内人の会を指定管理者として指定しようとするもの。	原案可決	○

⑳教育委員会委員の任命について 饗庭紀子(あいばのりこ)氏の任期満了に伴い、後任を任命するもの。	不同意	△
㉑佐倉市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について 平成21年1月からの産科医療保障制度の創設に伴い、被保険者が医療機関等から掛金の費用負担を求められた場合に、3万円を上限とした掛金相当額を加算支給しようとするもの。	原案可決	○
㉒人権擁護委員候補者の推薦について 外山隆造(とやまりゆうぞう)氏の退任に伴い、深山俊男(みやまとしお)氏を候補者として推薦するもの。	同意	◎

請願・陳情 ※丸数字は請願番号、白抜き数字は陳情番号

㉓国民合意の医療保険制度確立のため、後期高齢者医療制度の廃止を含む抜本的な見直しを求める意見書採択の請願	不採択	△
㉔岩名運動公園トイレ設置を求める陳情	採択	◎

議員発議 ※丸数字は発議案番号

①子どもを不安なく産めるよう、産科医及び周産期施設の充実を求める意見書	原案可決	○
②金融不況対策において雇用や中小企業の安定を前提に打開策をはかることを求める意見書	否決	△
③長寿医療制度(後期高齢者医療制度)の見直しを求める意見書	原案可決	○
④暮らせる年金の実現を求める意見書	原案可決	○
⑤療養病床削減計画の中止を求める意見書	原案可決	○
⑥輸入食品の監視体制強化とミニマムアクセス米の輸入中止を求める意見書	否決	△
⑦定額給付金の白紙撤回と本来なすべき「生活対策」の立案・実施を求める意見書	否決	△

2月定例会の予定

議会を傍聴してみませんか

- ◆初日 2月23日(月) 午後1時から
- ◆一般質問 3月2日(月)～5日(木) 午前10時から
- ◆予算委員会 3月9日(月)～12日(木)
- ◆常任委員会 3月16日(月)～19日(木)
- ◆最終日 3月24日(火) 午後1時から

☆日程は変更になることもありますので、事前にお問い合わせください。
議会事務局 ☎484-6279

お茶の間でもご覧になれます

ケーブルネット296の5チャンネルでは、本会議の様子を翌日に放送します。

【放送予定】

- ◆初日 2月24日(火) 午後5時30分から
 - ◆一般質問 3月3日(火)～6日(金) 午後5時30分から
 - ◆最終日 3月25日(水) 午後5時30分から
- ※番組の始めに各議員の放送時間帯をお知らせいたします。



佐倉市議会のホームページも ご覧ください

佐倉市のホームページ
<http://www.city.sakura.lg.jp>から

 をクリック

インターネットで 会議録が検索できます!

会議録検索システム を選択

平成元年以降の市議会の本会議
会議録の内容が検索できます。

【請願・陳情】 2月定例会審査対象の締め切りは、
2月17日議会運営委員会開催前(午前10時頃)までです。
書式等の確認のため、前日午後5時15分までにご提出をお願いします。
詳しくは、ホームページをご覧ください。

議会百景

大量生産・大量消費の時代があった。農業にも大量生産の求めで化学肥料や農薬を多投した。しかし「土の疲弊を招いた」と気付いた。循環型社会をめざす長井市のレインボープラン。生ごみを分別収集し堆肥化する。農地に還元すると自然生態系に即した土となる。有機農法による安心・安全な農作物が台所に帰る。土は命の源!

(議会報編集委員 勝田治子)

最近、議会の役割と責務の具体化を目指した「議会基本条例」の制定に関する新聞記事が見受けられます。当市議会においても会派代表者会議にて、議会のあり方についても審議を始めておりますが、要項の解釈の違い等でまだまだ意見の一致に至っておりません。今後も議論を重ね、創意と工夫による、よりよい議会運営を図っていく所存です。

(議会報編集委員 会座長 押尾豊幸)